

# 世界のバリアフリー児童図書展—IBBY選定バリアフリー児童図書2017

Barrier-free Children's Books from Around the World - 2017 IBBY Selection of Outstanding Books for Young People with Disabilities

会期：2018年8月7日（火）～8月26日（日）  
会場：国際子ども図書館 レンガ棟3階 本のミュージアム

会期中の休館日：月曜日、8月11日（土）、15日（水）  
開館時間：9時30分～17時

◎このリストについて

No.は展示資料に表示されている番号に対応しています。

以下の書誌事項と紹介文は、日本国際児童図書評議会（JBBY）制作の本展カタログ表記のとおりです。

展示資料のうち、国際子ども図書館に所蔵がある資料には請求記号を記載しました。

No.	タイトル（邦題）					国立国会図書館 請求記号
	原タイトル	著者名	発行国	出版社	出版年	

## カテゴリー① “FOR” 配慮：スペシャルアプローチ

1	手話とわたし					
	Des signes et moi	文：Genin, Cendrine 絵：Thévenet, Séverine	フランス	Âne bâté	2015	Y1-B503
<p><b>手話</b> フランス語の手話を独特な形で紹介した写真絵本です。ひとつの手話に見開き2ページが使われています。右ページは、「鳥」「飲みもの」「心」といった、基本的な単語を手話で表現している子どものモノクロ写真で、大文字と小文字の両方でその単語が書かれています。左ページは、それに関連した絵や写真なのですが、思いもよらぬ形で紹介されていてとても魅力的です。例えば、「自転車」を意味する手話の隣りにある写真。ふたつの円が歩道にチョークで描かれています。歩道に立つ女の子を上から撮った写真は、女の子が自転車に乗っているように見えます。子どもたちはみんな表情豊かで、ときには読者をまっすぐ見つめていて、この写真絵本をよりいっそう魅力的なものにしています。さまざまな文化圏の子どもたちがいて、目の肥えた読者なら、補聴器をつけている子どもたちがいることにも気づくでしょう。あらゆる年齢・能力の読者に向けて、想像力豊かに手話を紹介しています。</p>						

2	スーパーヒーローたちの老人ホーム					
	La Casa Di Riposo Dei Supereroi	文・絵：Cali, Davide	イタリア	Biancoenero Edizioni	2016	Y17-B19187
<p><b>読みやすい字体</b> 動きの遅い、年老いたスーパーヒーローたちは、若くて残忍な悪党を倒すことができるのでしょうか？力を合わせてチームを組めば、われらがスーパーヒーローたちはいつだって危機を救えるのです！この絵本は、本を読みはじめたばかりの子どもたちに向けたシリーズの1冊です。テンポが速く、アクションシーンもいっぱいなので、本を読むことが難しい子どもや読書に積極的ではない子ども、ディスレクシアの子どもも惹きつけられるでしょう。目にやさしい光沢をおさえた紙や、特別にデザインされたフォントを使用し、文字や線、行間に気を配るなど、読みやすくするためにいろいろな工夫がなされています。ピンクと黒で描かれた絵が、ややクリーム色がかかった白地に映え、楽しくてばかばかしい物語を盛り上げます。黒いふちどりで、くっきりと描かれたスーパーヒーローたちの表情や、あまりスーパーヒーローらしくない動きやポーズに、思わず吹き出してしまおうでしょう。</p>						

3	おはなし出てこい！——視線で合図！					
	Med Blikket på dyr, dokker og ballonger	文・絵：Diesen, Anette	ノルウェー	Solum forlag AS	2015	
<p><b>さまざまな意思伝達（補助代替コミュニケーション）</b> 話すことも手を動かすこともできないけれど、視線を使っただけのコミュニケーションならできる、そんな障害の重い子どもたちのために、この絵本は制作されました。リズム遊びや歌、お話などを子どもと一しょになって楽しめます。本は厚くてしっかりとした材質でできていて、子どもと読み手の間に本を置くと、中央に開けられた穴から相手の表情が見えるようになっていきます。動物や人形、風船などが描かれたページを子どもの側に置くと、子どもがイラストを視線で指し示すことによって、どのお話を読んで欲しいのかを、読み手に伝えることができます。イラストは見やすくわかりやすく、ペットやおもちゃなど、子どもが親しみを持てるものばかりです。付録に、「はい」「いいえ」「わかりません」と、答えを視線で選べるボードが付いていて、ほかの質問やコミュニケーションにも応用することができます。</p>						

4	こんこんくしゃんのうた				
		デザイン：野口光世 作詞：香山美子	日本	制作：ぐるー ぷ・もこもこ	2016 Y17-N17-L449
<p><b>布絵本</b> 日本では風邪の季節になると、大人も子どもも、人の集まる場所ではマスクをすることが多くなります。これは、ウイルス感染を防ぐためでもあり、自分の風邪を周りの人にうつさないようにするためでもあります。この美しい布絵本は、日本で親しまれている「コンコンクシャンのうた」をもとにしています。リスやツル、カバといった動物たちの布絵にマスクをつけたりはずしたりして遊ぶことができます。それぞれのマスクは形も大きさもいろいろで、表紙の裏には、マスクをしまっておけるポケットがついています。子どもたちがページをめくるとき、いろいろな動物があらわれるので、さわってたしかめながら、ポケットからちょうどいいマスクをさがして、かけてあげます。このように、手を使ってぴったりの相手を見つけるためには、指先を思いどおりに動かす巧緻性が必要になります。発達に遅れのある子どもたちは、この布絵本を使って、巧緻性を高める練習ができるでしょう。</p>					

5	かず				
	Counting (Braille)	文・絵：Dorling Kindersley	イギリス	Dorling Kindersley	2016 YTZ1-B17
<p><b>点字つきさわる絵本</b> 英国王立盲人協会の協力で作られたこのボードブックは、数字や数え方をさわって学べる入門書です。全盲、弱視を問わず、目に障害のある就学前の子どもたちが、周りの大人たちと一しょに読めるよう作られました。さまざまな素材——柔らかくすべすべしたボール、羽のある鳥、ごつごつした木などは、さわられるだけでなく、はっきりした色がついています。1から10までの数字に、それぞれその数字の個数だけ、ボールや鳥などがついています。中でも、びっくりするほどぺたぺたする9匹のイモムシは、子どもたちに大うけすることまちがいないです。点字とサン・セリフ体の読みやすい墨文字で書かれた、短くてリズムカルな文章は、子どもたちを次から次へと新しいページに誘います。もちろん数字にも点字がついていて、巻末には楽しくおさらいができるコーナーもついています。子どもたちは、この本で数字に興味を持ち、何よりも楽しい時間を過ごすことができるでしょう。</p> <p>●邦訳『さわってたのしむ点字つきえほん1：かず』（フラ－・スター 作、ポプラ社）</p>					

6	科学絵本：それほんとう!?				
	It Can't Be True	文・絵：Dorling Kindersley	イギリス	Dorling Kindersley	2016 YTZ1-B18
<p><b>点字つきさわる絵本</b> 自分ひとりで本が読める子どもにとって、科学の豆知識が詰まったこの絵本は、特に興味をそそられることでしょう。点字と墨文字がついているので、見える子と見えない子が一しょに楽しむことができます。動物、人体、宇宙などのトピックスが、表面や輪郭の浮き出たカラー写真とともに紹介されています。いくつかの写真は実物大で、たとえば、世界最大の雹（ひょう）はテニスボールの3倍であるといった、比較に基づく説明がされているので、子どもたちはその大きさを具体的にイメージできます。また、目の見えない子どもたちは、点字の説明文から伸びる点線をたどっていくと、関連の写真を簡単に見つけられるでしょう。本文は細かく区切られているので、ページの途中や、小さな項目ごとに読みはじめられます。英国王立盲人協会がデザインの協力をしています。</p>					

7	めんどりのお話				
	Morgh-e Sorkh-e Pa Kootah	文：Eghtedari, Setareh/Dowlatabadi, Parvin 点訳：Badbadak Tactile Group	イラン	Badbadak Visual Arts Institute	2016
<p><b>点字つき布絵本</b> イランの昔話が、かわいらしい布絵本に生まれ変わりました。この布絵本は4方向に向かって開くようになっており、真ん中にはもうひとつの小さな本が入っています。お話は、いたって馴染み深いものです。小麦の種を見つけためんどりは、種をまき水をやって収穫し、小麦粉にしてパンを作ります。ところが、ほかの動物たちが手伝ってくれなかったものだから、自分のひよこにだけパンをあげます。皮、フェルト、網など、多彩な手ざわりの素材が効果的に使われ、各ページには点字もついていて、目の見えない子や見えにくい子がさわって楽しむのうってつけです。4方向に開くページの1枚1枚に登場人物が描かれ、内蔵されている小さな本にはパンの作り方が載っています。子どもたちはお話の世界に入り込んで想像をめぐらせたり、イラン式のパンの作り方を学んだりできます。付録の箱には、本物の麦の穂など、さわって楽しめる物がつまっています。</p>					

8	シラユキさんとあみあみモンスター				
	Sneeuw witje breit een monster	文・絵：Haeringen, Annemarie van	オランダ	Stichting PrentenboekenPlu s	2016 YTZ1-B20
<p><b>点字つきさわる絵本</b> 白ヤギのシラユキさんが、得意の編み物でいろいろな物を作り出したり、問題を解決したりする絵本の特別仕様版です。ある日、シラユキさんが子ヤギを編むと、なんとそこに命が宿ります。ところが、また別の日にシラユキさんの編み棒から生まれたオオカミが、お腹を空かせて子ヤギたちを食べようと……シラユキさんは編み物でそれをとめようとして……。お話はわかりやすく、点字と大きな文字で書かれています。お話のカギとなる言葉とその絵が近くに配置され、子どもたちが頭の中で言葉と絵を結びつける手助けをしています。登場人物はそれぞれ違った素材のさわる絵で、さわるとすぐに区別できるようになっています。おまけについている、ふわふわのヤギと編みかけのモンスターを使って、子どもたちは「シラユキさんごっこ」をして自分たちでお話を再現したり、新しいお話を作ったりして遊べるでしょう。</p> <p>●邦訳『シラユキさんとあみあみモンスター』（アンネマリー・ファン・ハーリングン作、野坂悦子訳、BL出版 *特別仕様ではない）</p>					

<b>9 司馬光と大きな甕</b>					
Si Ma Guang and the Giant Jar	文：Lee, Seow Ser 絵：Tan, Ai Khim	シンガポール	Helang Books	2016	
<p><b>点字つきさわる絵本</b> 中国の賢人、司馬光の幼少時代のエピソードをもとに作られた絵本です。物語は、幼い司馬光が機軸をかきかして、おぼれかけた友だちを助けるという内容です。活字を読むことが難しい子どもたちにも、読みやすい文字と点字でつづられています。さわる絵が添えられたわかりやすいストーリーは、目の不自由な子どもたち、知的障害のある子どもたち、そして障害のない子どもたちも楽しめます。裏表紙には、点字と墨文字による簡単な用語解説と、子どもたちが物語について考えを深めるきっかけとなるような質問が載っています。また、点字をもっと知りたい子どもたちのために、アルファベットと数字が点字で掲載されています。子どもたちがめくりやすいように、ページは丈夫なプラスチック製で、リング製本になっています。</p>					

<b>10 まるまるまるのほん</b>					
Un livre	文：Tullet, Hervé	フランス	Les Doigts Qui Rêvent	2016	
<p><b>点字つきさわる絵本</b> 色と手ざわりが違う3種類の「まる」と、簡単な言葉だけで作られたこの絵本は、子どもたちの手で命を吹き込まれます。つつい引きこまれる親しみのある言葉が、点字と墨文字で書かれています。押したり、こすったり、傾けたり、言葉に導かれて、子どもたちがページをめくると、「まる」はページの上をまるで生きているみたいに動き回り、配置を変え、増えたり減ったり、大きくなったり小さくなったりします。全盲の子どもたち、発達に遅れのある子どもたちが楽しめることはもちろん、まぶしくない光沢をおさえたクリーム色の背景に「まる」の鮮やかな色が引き立ち、弱視の子どもたちにとっても楽しい絵本になっています。最後に、黄色いけばけばの「まる」が大きくページ上に広がる様子は圧巻です。</p> <p>●邦訳『まるまるまるのほん』（エルヴェ・テュレ作、たにかわしゅんたろう訳、ポプラ社 *特別仕様ではない）</p>					

<b>11 王様にご馳走を</b>					
Feestmaal voor de koning	文：Verhelst, Marlies 絵：Faas, Linde	オランダ	Lemniscaat	2015	YTZ1-B1
<p><b>点字つきさわる絵本</b> 何段にも積み重なったおいしそうなケーキのてっぺんを盗んだのはだれ？ケーキを焼いたクモが泥棒を探しに出かける、さわって楽しめるミステリー絵本です。ケーキを焼いたクモが、泥棒を探しにでかけます。読者の子どもたちがクモについていくと、ふさふさのゴリラ、皮のゾウ、すべすべくちばしのオオハシなど、さまざまな素材で作った個性的な手ざわりの動物たちが待っています。はてして、クモは、犯人を見つけることができるのでしょうか。ストーリーは点字と墨文字で書かれ、付録のCDには音読版が収録されています。大きな版型で作られた絵本なので、目の見えない子、見えにくい子、障害のない子、どんな子どもたちも楽しめる絵本です。</p>					

**カテゴリー② “WITH” 共に：ユニバーサルアクセス**

<b>12 あさになったので まどをあけますよ</b>					
	作：荒井良二	日本	偕成社	2011	Y17-N12-J14
<p>朝、窓を開け、外を見る。この何気ない日々のくり返しが胸に響きます。読む人の目をうばうこの美しい絵本は、幅広い読者の心をつかむことでしょう。見開きいっぱい広がる山や海、町並みなどの雄大な景色。朝日のふりそそぐパノラマの風景の数々を見つめていると、世界の大きさや自然の美しさがしみじみと感じられます。読者は、何度も絵本を開くうちに、イラストの細部に新たな発見があるでしょう。たとえば、いくつかの場面にあらわれる、子どもと思われる小さな人影。光あふれる大きな風景のなかに、小さな気配を感じられるはず。詩のようなリズムを持った短いフレーズで構成される文章は、イラストのおだやかさをより一層引き立てます。絵と文は一体となって、この世界にはたくさんの喜びや可能性がひそんでいるということ、そして、その多くは窓を開けばすぐそこにあるのだと、読者にそっと思い出させてくれます。</p>					

<b>13 犬——反対ことば</b>					
Les chiens (contraires)	文：Élo	フランス	Éditions Sarbacane	2016	Y17-B19294
<p>個性的な犬たちが目をキョロキョロさせて、読者をじっと見つめたり、犬どうして見つめ合ったりしながら、「内側と外側」、「ふとっちょとやせっぽっち」といった反対言葉のペアを表現していきます。また、仕かけ絵本になっていて、折りたたまれた部分を開いたり閉じたりすると、犬の一部が見えたり隠れたり、犬の大きさや犬のいる場所が変わったように見えるフランスらしい遊び心があふれた絵本です。くっきりとした図形を組み合わせたようなイラスト、対話形式で進む名札のような最小限のテキストのおかげで、さまざまなタイプの読者にわかりやすくなっています。発達や学習の遅れがある子どもたちも、おどけた犬たちが見せる表情やジェスチャーを楽しんでくれることでしょう。</p>					

14 あげるともらう					
Prendre & donner	文：Félix, Lucie	フランス	Éditions des Grandes Personnes	2014	Y17-B18108
この絵本には、子どもたちを楽しませるためのさまざまな工夫がこらしてあります。指を動かして円や四角にさわっているうちに、いろいろな形がわかるという仕掛けです。ひとつ、ふたつの必要最小限の言葉をヒントに、ページにはめこまれた図形をはずして、次のページの同じ形の穴にはめこめるようになっていきます。すると、その図形は思いがけない絵の一部になって、見え方が変わっていきます。わかりやすい説明が必要な子どもたちにとって、この本のアプローチはとてもおもしろく、きっと効果をあげることでしょう。コントラストのはっきりした明るい色のイラストは、目が見えにくい子どもたちの手助けとなってくれるはずで。					

15 雲に頭をつっこんで					
Con la cabeza en las nubes	文：Franco, Raquel/Bianki, Diego/Kaufman, Ruth 絵：Bianki, Diegoほか	アルゼンチン	Pequeño editor	2015	
世界中のアーティストが協力して作った、まったく新しい発想の絵本。この絵本を読んだ子どもたちは、雲を見て何かひらめいたり、科学的なことを知って驚いたりするでしょう。厚い表紙をめくると、さまざまな形をした雲に出合えます。読者は、この雲に絵を描いたり、色をぬったり、あるいは自分で工夫して新しい雲を作ったりもできます。さらに、ところどころに、雲に関するおもしろい豆知識が書かれています。雲が何でできているのか、どのくらいの重さなのか、なぜ落ちてこないのかなど、子どもたちが持つ素朴な疑問に答えてくれます。自由な発想をのびしつ、情報も与えてくれるこのユニークな絵本は、幅広い年齢の子どもたちの興味をひくでしょう。ほぼすべての人たちに必要なものが、この絵本の中にあります。					

16 想像の					
Imaginario	文：Franco, Reyva 絵：Espinoza, Gerald	アルゼンチン	Pequeño editor	2015	Y17-B18804
一見するとこのお話は、足にぴったり合う履きなれた靴のように、離すことのできないふたりの単なる友情物語に見えるかもしれませんが。しかし、もっとじっくり読めば、このふたりの関係には、想像力が大きな役割を果たしていることに気がつくでしょう。この絵本は、自分がみんなと違っていて独りぼっちだと感じている人たちに、仲間を見つけ、友だちとの関係に目を向ければ、楽しいことがあるということ、はつきりと、また、とりとめのない方法で教えてくれます。仲良しのふたりを描いた素朴なスタイルのイラストは、子どもが描いた絵のようで、はつきりとした色でしっかりと塗られ、輪郭が黒でふちどられています。違いを乗り越えるという前向きなメッセージを伝え、強く結ばれた友情を描いたこの絵本は、幼い子どもたちに、長く読みつがれていくことでしょう。					

17 あな					
Un hueco	文・絵：Frankel, Yael	アルゼンチン	CalibroscoPIO Ediciones	2015	Y17-B18693
愛するものを亡くしたときの深い悲しみを、静かに語った印象的な絵本です。図案化された登場人物は、大きなからだに悲しみをたたえ、胸に空いた大きな穴は、大切に思っていた存在を失った後に残る「喪失感」を表しています。大きくて読みやすい字体で書かれた文章は、短いながらも多くを語り、やさしさと思いやりをもって、喪失感やむなしい気持ちを表しています。この絵本は、死や悲しみと折り合いをつけるための、簡単に完璧な解決法を与えてはくれるわけではありません。しかしそのかわりに、誰も何らかの穴を持っているのだと読者にそっと伝えます。穴は一生どこまでもついてまわることがあるけれど、それでよいのだと語りかけてくれます。イラストレーションが魅力的で、難しいテーマをわかりやすく描いているため、発達障害のある人をはじめとする幅広い読者から支持されることでしょう。					

18 恋ちゃんはじめての看取りーおおばあちゃんの死と向きあう					
	写真・文：國森康弘	日本	農山漁村文化協会	2012	Y5-N12-J67
この写真絵本は、『いのちつぐ「みとりびと」』シリーズの1冊で、大好きな92歳のおおばあちゃん・竹子さんの死と向きあった、小学5年生の恋ちゃんの体験を記録したものです。はじめて出会う死について語る、恋ちゃんのまっすぐな言葉によって、現実をありのままに切り取った臨場感あふれる写真がいつそう胸にせまります。カメラは、自宅で家族に見守られながら息を引き取る竹子さんを、目をそむけることなくとらえています。この写真絵本は、小さな子ども向けの作品にはめずらしいほど、包みかくさず、生から死への移行を間近に敬意をこめて見せています。難しいテーマを淡々と伝える姿勢と、作品のかもしれない穏やかで安らいだ空気は、障害のあるなしにかかわらず、いろいろな子どもたちに受け入れられることでしょう。					

19 おはなをあげる					
Sidewalk Flowers	文：Lawson, JonArno 絵：Smith, Sydney	カナダ	Groundwood Books	2015	Y17-B17971
<p><b>文字なし絵本</b> 都会を舞台にした文字のない絵本で、父親と散歩する少女が草花を摘んでいくようすが描かれています。少女は摘んだ花を、仲良しの犬やベンチに座っているホームレス、道端で死んでいる小鳥にプレゼントします。少女の行いのおかげで、世界はそれまでよりも美しい場所へと変化していきます。花を渡す少女も、渡される相手も、その出会いによって変わるからです。本作では、色がとても効果的に使用されています。灰色におおわれた都会の風景のなかで、少女の赤いフードと花に色がつけられているため、読者にストーリーの焦点が伝わりやすくなっています。少女が散歩を終えるころ、世界は色鮮やかな世界へと変わっています。子どもが変化をもたらす能力は、瞬く間のささやかなことであっても、幅広い多くの読者の心に訴えかけることでしょう。魅力的なイラストと文字のないこの絵本は、だれもが楽しめる作品です。</p> <p>●邦訳『おはなをあげる』（ジヨナルノ・ローソン 作、シドニー・スミス 絵、ポプラ社）</p>					

20 鼻をほじったほんとうの話					
Jinjja Ko Paneun lyagi	文・絵：Lee, Gab Gyu	韓国	Bear Books	2014	
<p>このユーモラスな絵本がクローズアップで見せてくれるのは、やっている人はたくさんいるけれど、そばで見たがる人はあまりいないしぐさ。パンダやスイギュウ、キリンといったさまざまな動物たちが鼻くそをほじくる、そのようすをおかしく、気持ち悪く見せてくれます。とはいえ、そんな姿を堂々と迷いなく見せているのには、ちゃんとした理由があります。動物たちは映画のオーディションを受けているのです。風変わりなテーマが、映画づくりのパロディや動物たちと結びついて、読者は好奇心をひきつけられ、ページをめくらずにはいられません。あらゆる年齢の、できることもできないこともさまざまな子どもたちの笑顔を引き出ししてくれる絵本です。第55回韓国出版文化賞受賞、2015年世宗図書教養部門選定図書。</p>					

21 なまりのへいたい					
El soldadito de plomo	文・絵：Luna, Clara	スペイン	Ediciones La Topera	2016	
<p><b>文字なし絵本</b> アンデルセンの「鉛の兵隊」を再話した文字のない絵本です。発達やコミュニケーションに障害のある子どもたちのニーズに合うように作られています。困難のない大勢の子どもたちも同様に楽しめるでしょう。物語は、四角い枠の中に描かれた混合技法のイラストで進んでいき、簡単に「読める」ような工夫が施されています。ひとつの枠に、物語の一場面だけが描かれ、ほとんどの場面に主人公の「なまりの兵隊」が登場します。そのため、子どもたちは物語の流れを途切れることなく追うことができます。次の枠への進み方は、矢印ではっきりと示されていて、読者はページのどこを見ればよいかわかりやすく、矢印は、登場人物の間でかわされる動作や表情などによる「無言の会話」を目立たせるためにも使われています。登場人物はみな表情豊かで、感情表現がわかりやすく描かれています。</p>					

22 マリアムのレバノン・ピザ					
Mankoushit Mariam	文：Mheidly, Nabiba 絵：Merhej, Lena	レバノン	Dar al-Hadaek	2013	Y1-AZ5121
<p>このわかりやすいハウツー絵本では、主人公のマリアムがレバノン・ピザの作り方を教えてくれます。見開きごとに、マリアムの手の写真と絵を組み合わせたイラストが描かれ、料理の手順が示されます。手以外のマリアムに出会えるのは、最後のページ。そこで、マリアムがダウン症の子どもだとわかります。ボウルや麺棒、焼き型などの調理道具は、黒く太い線でふちどられ、すっきりした背景に配置されているため、特に視力の弱い子どもたちが本を見るときに効果的です。文章は短くて理解しやすく、発達に遅れのある子どもでも楽しめるでしょう。表紙や本文ページは、防水加工され丈夫に作られており、子どもたちがマリアムのように、レバノン・ピザを作るときに台所で使っても問題なく、レシピとしても活躍してくれることでしょう。</p>					

23 ちょっと不思議な絵本の時間 おとなが読みあい語りあう					
	編：NPO法人 Re~らぶ（高次脳機能障がい者を支援する会）	日本	かもがわ出版	2015	
<p>絵本を読んだり絵本について話したりすることは、高次脳機能障害者のためになるのでしょうか？この手引書によれば、答えは「イエス」です。この本は、障害のある人たちが、本を選んだり意見を交換したりするための興味深いモデルを紹介しています。脳にダメージがあって、記憶を保持したり感情をコントロールしたりすることが難しい人たちが、週1回集まって1冊の絵本を読み、感想を語り合う活動を10年以上続けています。自分なりの考えを互いに話し合うことで、参加者は自分がまわりに受け入れられていると感じ、はげまされ、広い世界とのつながりを意識できるのだそうです。参加者たちの意見は、それぞれのシンボルマークとともに記されています。この活動で読まれた、絵本と紙芝居のリストが収録されているので、絵本を読みあう活動をはじめたいと考えている人のヒントとなるでしょう。</p>					



24	まえあと					
	Aurretik ondoren	文：Ramstein, Anne-margot 絵：Aregui, Matthias	スペイン	Ttarttalo	2014	
<p><b>文字なし絵本</b> この一見単純そうに見える絵本は、時間が経つことで起こる変化、中でも自然界に起こる変化に注目しています。見開きページには、変化が起こる前と起きた後のイラストが細かな部分まで見事に描かれています。複数ページにわたって関連している場合もあり、ときが経つことで起こるいろいろな出来事には予想外の関係があるとわかります。例えば、あるページには、リンゴの木にかかった鳥の巣に卵があり、その卵がヒナになります。ページをめくると、ひき続きリンゴの枝が見えます。そのリンゴの実が熟れ、虫のすみかになったり鳥のエサになったりして腐ります。この言葉のない絵本には、発達に遅れのある人をはじめ、幅広い読者が惹きつけられます。あらゆる年代の読者が、印象的なイラストを眺めたり、見開きと見開きにつながる隠された物語を探したりして楽しむことでしょう。そして、見る度に新たなつながりが見つかり、楽しい会話が生まれるでしょう。現在、複数の国で出版されているこの作品は、元々は『Avant Après』というタイトルで、2013年にフランスのアルバン・ミシェル・ジュネス社から出版されました。</p>						

25	バボラ サラビム！					
	Babola Salabim!	文：Tisell, Anneli 絵：Schubert, Ola	スウェーデン	Hatten Förlag	2016	Y17-B19417
<p>「バボラ サラビム！」。ポッポ、ゴッゴ、ビッピーなど、おかしな名前のバップラーナの仲間たちは、名前と同じようなちょっと不思議な言葉を話します。バップラーナの言葉を聞いて話し方をまねすることで、幼い子どもたちは言葉を発するようになります。声に抑揚をつける訓練ができ、言語の発達が促されます。これまで、バップラーナのシリーズは、言語や学習に障害のある子どものために制作されてきました。しかし、言葉の発達の初期段階にある幼い子どもたちなら、みんな、バップラーナが大好きで、自分も彼らの愉快な冒険に加わりたと思うことでしょう。タイトルにある「サラビム」という言葉は、魔法の呪文です。本の後ろには、切り取って丸めると小さな魔法の杖になるパーツがついています。さあ、「バボラサラビム！」の呪文を唱えながら、バップラーナの仲間たちといっしょに魔法の杖を振って遊びましょう！</p>						

### カテゴリー③ “ABOUT” 理解：ポートレイト

26	目に見えないゾウ					
	Nevidimyj slon	文：Anisimova, Anna 絵：Lapshina, Diana	ロシア	Foma	2013	
<p>小さな女の子の気ままな生活に焦点が当てられた絵本です。女の子は、動物園で出会ったゾウなど、体験する何もかもに驚きます。女の子には豊かな想像力があり、彼女の世界は空想と現実の両方で満たされていきます。女の子が心のなかで見る風変わりなイメージは、細かく軽いタッチで描かれています。読者は、ページをめくって女の子のことを知っていくうちに、この子は目が見えないのだと気がつかされます。ほかの登場人物は、女の子に特別な注意は払っていません。読者もそうあるべきだと、作者はそれとなく伝えています。女の子はこの世界で安心しているので、自信を持って積極的に行動できます。好奇心を持ったことは、なんとかやってみようと思案を探します。楽しそうな女の子と周りの人たちの愛情あふれる関係は、サポートがあれば、視力を失っても人生を存分に味わうことができるのだと教えてくれています。</p>						

27	たまご					
	To avró	文：Bakirtzi, Eva 絵：Andrikopoulos, Nikolas	ギリシャ	Patakis Publications	2014	Y17-B19487
<p>「ぼくは何かみょうなものの内側に住んでいる気がする……大きな白い卵のうんとかたいカラの中みたいな。」自閉症の少年ヴィクトルの視点で語られるこの絵本は、卵のイメージを利用して、自閉症の人の気持ちを説明しています。ヴィクトルは、この障害があるほかの人たちと同様、他人から変な目で見られたり、避けられたりするような行動をとってしまいます。相手と目を合わせようとしなかったり、おかしな声を出したり、ひも1本で何時間でも遊んでいたりと……。でも、安全で安心な自分の「卵」の中でなら、ヴィクトルはなんでもできます。100ピースのパズルをあつという間に完成させたり、ちょっと説明を聞くだけで上手にゲームができたり、ピアノで作曲もできたりするのです。当事者のすなおな言葉で語られることで、自閉症がヴィクトルにどんな影響をあたえているかがよくわかります。自閉症について、もっと知りたいと考えている人にも、きっと役立つことでしょう。</p>						

28 耳が聞こえないウサギのヒーロー					
El Deafo	文・絵：Bell, Cece	アメリカ合衆国	Amulet Books, Imprint of Abrams	2014	Y16-B365
<p>作者自身の子ども時代の経験をもとにした、自伝的なグラフィック・ノベルです。作者のセス・ベルは、グラフィック・ノベルという手法と、ファンタジーの要素を最大限に生かしています。髄膜炎の後遺症で、主人公のセスは聴力を失います。エルデフォの社会では、ウサギと同じような大きい耳が人間にあり、音が聞こえることと同様に、聞こえないこと、そして補聴器を使うことが強調されています。本書では、吹き出しが効果的に使用されています。セスが聴力を失いはじめると、吹き出しの言葉も消えていきます。聴力を完全に失ったとき、吹き出しから文字がなくなります。難聴の子どもはセスに共感するでしょう。というのも、作者は耳が聞こえないセスが、奇妙な人に見えないように努力を払い、特別な補聴器のおかげで、むしろ英雄的存在のエルデフォとして描かれているからです。この本はグラフィックという読みやすい形式になっており、やさしいユーモアがあります。さらに、作者が子どもの頃に抱いた居心地の悪さや悔しい思いをした経験も描かれているため、あらゆる立場にいる読者が関心を持つ作品となっています。</p>					

29 わたしがいどんだ戦い 1939年					
The War that Saved my Life	文：Bradley, Kimberly Brubaker	アメリカ合衆国	Dial books (Penguin)	2015	Y8-B15205
<p>10歳のエイダは、一部屋しかないロンドンのアパートに暮らしています。片方の足が生まれつき内反足のエイダは、3つの戦争と向きあうこととなります。ひとつめの戦争は第二次世界大戦で、ふたつめの戦争は母親との戦いです。エイダは母親に虐待されていたのです。母親は、障害のあるエイダを恥ずかしく思う気持ちから憎しみを抱くようになります。気に入くないことがあるとエイダに暴力をふるって、世間に対する不満を解消させていました。そして、とうとうエイダの心のなかで3つめの戦争が起こります。幸せに暮らしたい気持ちと、自分は愛される価値がないという思いこみが激しくせめぎあうのです。しかし、弟といっしょにロンドンから疎開し、そこで出会った人びとから温かい手を差しのべられ、エイダの心の傷は少しずつ癒されていきます。本作は、障害のある人の身の上を綴った物語というだけでなく、レジリエンス（自らの回復力）、そして人のやさしさが与える回復力の物語ともいえます。2016年のニューベリー賞次点作。シュナイダー・ファミリーブック賞受賞。</p> <p>●邦訳『わたしがいどんだ戦い 1939年』（キンバリー・ブルベイカー・ブラッドリー 作、大作道子 訳、評論社）</p>					

30 指のあいだの空					
Il sole fra le dita	文：Clima, Gabriele	イタリア	Edizioni San Paolo	2016	
<p>複雑な家庭に育ち、学校で問題児扱いされているダリオと、身体が自由がきかず車いすで生活をしているアンディ、それぞれ問題を抱えたふたりのティーンエイジャーが、ふとしたことから出会い、いっしょに旅をすることになります。ふたりは旅の途中で、次々と難題に直面し、互いに頼ったり頼られたりしながら、次第に強い絆で結ばれていきます。読み進めるうちに、ダリオとアンディのリアリティあふれる会話や人間性に、どんどん惹きつけられる作品です。そして、読者もダリオとアンディといっしょに苦難に満ちた旅を続けるうちに、ふたりと同じように大事なことに気づくでしょう。未来は、過去に決められるものではなく、他人の期待に縛りつけられるものでもないということに。</p>					

31 ふたりでひとり、ひとりでふたり					
One	文：Crossan, Sarah	イギリス	Bloomsbury	2016	
<p>グレースとティップは、腰の部分でつながっている結合双生児です。ふたつの頭、ふたつの心臓、4本の腕、2本の脚があります。行く先々で注目されるものの、ふたりは常に行動をともにする生活に特に不満はありませんでした。けれど、16歳のときに重大な出来事が起こります。私立の学校へ通うことになったふたりは、生まれてはじめて友だちができるのですが、深刻な健康の危機に見舞われ、学校生活への自信を失くしてしまいます。そして、グレースの心臓機能が落ち、分離手術という選択をせまられたとき、手術を受けると、ふたりのうちのひとは死ぬ可能性が高いことがわかります。安全で守られた生活が終わりを告げるようですが、グレースによる短い自由詩で綴られています。本書を最後まで読むと、個とはなにか、充実した人生を送る意味はなにかをじっくり考えさせられるでしょう。作者のあとがきには、結合双生児に関する情報が付記されています。あまり知られていない事実に触れることによって、このような障害について話し合うきっかけにもなるでしょう。</p>					

32 恵まれない					
Dépourvu	文：Grondin, Victoria	カナダ	Éditions Hurtubise	2016	Y8-B16596
<p>この小説は、「障害者」であることの意味や、「普通」であることの意味について、問題提起をしています。物語の舞台は普通ではない社会、ここでは視点がひっくり返っています。語り手のギョーム以外は、みんな自閉症スペクトラムなのです。自閉症スペクトラム中心の世界では、障害があるのはギョームのほうで、変わり者あつかいされます。この革新的なストーリー展開が、力強い筆致やよく研究されたリアルな自閉症の表現とあいまって、自閉症を抱えて生きるとはどういうことなのか、当事者でない読者の理解を助けてくれます。人と違っているからといって仲間はずれにされ、正常ではないと見なされることについて、深く考えることができるでしょう。</p>					

33	ドロップ・イン				
	Dropping In	文：Havel, Geoff	オーストラリア	Fremantle Press	2015 Y8-B17200
スティックスとランガは、もうすぐ13歳になります。同じ通りに住み、同じ学校に通い、スケートボードやテレビゲームなど、好きなものも同じです。そこへ車いすに乗ったジェイムズが、新たにやってきました。スティックスは、自分とランガがジェイムズと仲良くなれるか不安でした。3人に共通点があるとは思えなかったからです。ところが、スティックスは、思ったよりもジェイムズと共通点がたくさんあります。脳性麻痺のため、できないことはいろいろありますが、ジェイムズはユーモアのセンスにあふれ、とても頭が切れます。難しいのは、スケートボードをすることくらいのように思えます。ジェイムズは、スティックスたちのように、スケートボードの上に乗ったり、スピードを楽しんだりすることはできないでしょうから。ひよっとするとできるかもしれませんが。特にドラマティックな展開が好きな人には、この3人の友情物語はおすすめです。壊れた長椅子で作った大きなスケートボードに乗るジェイムズのはらはらさせられるラストシーンは、いつまでも読者の心に残るでしょう。					

34	少年と海				
	Pojken och havet	文：Hedman, Sofia 絵：Gårdeler, Emelie	スウェーデン	Kikkuli Förlag	2016 Y17-B19434
男の子が、父親に尋ねました。「海ってどんなもの?」。男の子は、生まれたときから目が見えず、海に行ったこともありませんでした。父親は、男の子が日頃から楽しんでいるものの中から、味覚や触覚で感じ取ることができるものを用意し、それとの対比を通して、見たことのない海の具体的なイメージを伝えます。海は、いつも飲んでいる水と同じで、さわると濡れてしまうこと。だけど、その大きさは、男の子が住んでいる家よりも、もっと途方もなく大きなものだ。そしてついに、男の子と父親は海にやってきます。打ちよせる波と青や緑の影が織りなす浜辺の大気は、まるで夢のようで、海を感じることのできる素晴らしいものでした。この絵本の中で繊細に表現されているさまざまなことは、見えない人生を生きるということを、よりリアルに伝えてくれます。また、視覚障害のある人たちと、どのように関係を築いていけばよいのか、読者によく考えさせてくれる作品になっています。					

35	おかしなママをもって				
	Mamma Klick!	文：Helgason, Gunnar 絵：Flygenring, Rán	アイスランド	Forlagid. Publishing	2015 Y8-B17236
明るく楽しい雰囲気のお話です。もうすぐ13歳になるステラは、〈頭のおかしい〉母親に対する、これまで信じていた「普通」と「普通じゃないこと」をもう一度考え直します。ステラ自身のもつ仮定が変われば、彼女の語る物語も変わるのです。読者もステラがどんなにみんなの中に溶け込みたいと願っているのか知れば知るほど、ステラに対する見方も変わります。ステラのなかに新たな光を見出したとき、ステラは充実した楽しい人生を送っているのだと読者は気づくでしょう。それは、たまたま車いすを使うことになった人に対しても同じことがいえるのです。					

36	お父さんといっしょなら				
	Appa, Mianhaehaji Maseyo!	文・絵：Hong, Na Ri	韓国	Hanulimkids Publishing Co.	2015
本書は若い人向けの心温まるお話です。車いすで生活している父親は、歩けないために、娘といっしょにできないことがあることを残念に思っています。作者自身の経験をもとにした本作は、父と娘の会話を通して、父親が親としては不十分であるのを気にしていることが娘の視点で語られています。娘は父親に、「行く先々で嫌な気持ちになることはない」とはっきりといいます。そして、ふたりでいっしょに楽しめることをたくさん見つけて、父親に教えてあげるのです。楽しげで、暖かい色合いのイラストは、父と娘の日常生活の一場面を愛情深く表現しています。公園のベンチに座っていたり、娘とよりよいピクニック用の毛布にくるまっていたりするので、ほとんどの場面で父親が車いすを使っている絵はありません。大切なのはできないことよりも、できることに気持ちを向けるべきであるということが強調されています。また、思いやりのある関係も大切に描かれています。娘は父親にこういいます。「お父さんはわたしのことを心配しているみたいだけど、わたしはお父さんと毎日いっしょにいられるだけで幸せなの」と。					

37	木の中の魚				
	Fish in a Tree	文：Hunt, Lynda Mullaly	アメリカ合衆国	Nancy Paulsen Books	2015 Y8-B15789
アリーにとって〈読むこと〉は、「スープに浮かんでいるアルファベット形の小さなパスタを見て、意味を理解しようとするようなもの」でした。アリーはディスレクシアで、読み書きが苦手なため、学校の先生からは努力がたりないと思われ、友だちからはいじめられ、アリー自身も自分は頭が悪いのだと思いこんでいます。でも、産休に入った先生のかわりに一風変わった男の先生がやってきたときから、いろいろなことが少しずつよい方向に動きだします。新しい先生は、子どもたちにはそれぞれに合った勉強法があるということを知っていました。そして、アリーに読み方を教えるという大事な役割をたすと同時に、アリーとクラスメイトがディスレクシアやこの学習障害のある著名人について学ぶ手伝いもしてくれたのです。一定の年齢以上のディスレクシア児なら、アリーの気持ちや、アリーが教室で体験した問題に共感することでしょう。またこの本にはディスレクシア児への配慮として、1章1章を短くする、余白を大きくとる、光沢をおさえた紙を使用するといった工夫がなされており、読みに困難のある子どもたちにも読みやすくできています。 ●邦訳『木の中の魚』（リンダ・マラーリー・ハント 作、中井はるの 訳、講談社）					



38	<b>上を見て！</b>				
Wireul bwayol!	文・絵：Jung, Jin Ho	韓国	Hyeonamsa Publishing Co., Ltd	2014	Y17-AZ7165
<p>スジは、車の事故で両足が動かなくなった女の子。車いすに座って、住んでいるビルのバルコニーから、下の通りの人たちが急ぎ足であちこち行き交う様をながめて過ごします。そして誰かが自分に気づいて挨拶してくれないかな、と願っています。ある日とうとう、通りの男の子がスジを見つけて話しかけます。その小さな出来事は、高いところにいるスジと下の通りにいる忙しい人たちの距離を埋めるのに十分でした。ほかの人たちも立ちどまって上を見あげ、スジと下の人たちは互いに関わり合うようになります。白い背景にゆるやかな黒い線で描かれたスケッチ風のイラストは、上から見下ろした通りの風景をイメージさせます。そして、少年と出会った後、顔をあげたスジの笑顔や画面に突然広がる色からは、スジが物事を明るく見ることができるようになったことが伝わってきます。子どもたちは、文章の少ないページを繰りながら、イラストをすみずみまで眺めて楽しむことでしょう。</p>					

39	<b>シュシュとジャンと四輪車</b>				
Şuşu, Can ve Dörtteker	文：Karakiya, Yildiray 絵：Günaçan, Başak	トルコ	SEV Yayıncılık Eğitim ve Ticaret A. S.	2014	
<p>シュシュは三輪車にのるのが好きな女の子。ある日、公園で、見たこともない乗り物にのっている男の子を見かけます。シュシュの三輪車よりも車輪がひとつ多いのだから、これはきっと「四輪車」というものなのでしょう。四輪車をもっとよく見たくて、シュシュは男の子を追いかけます。男の子がのっているのは車いすというものでした。車いすの車輪はシュシュの三輪車のものとは違っていますが、男の子はシュシュのできることなら、なんでもできます。遊ぶことも、楽しむことも、散らかしたところをそうじすることも！この物語は、ふだんの生活の中では出会う機会がないかもしれない、子どもと障害者とを引きあわせてくれます。巻末には、保護者や教師に向けて、トルコの障害者がおかれた状況についての解説があります。そこでは、障害のある人をあわれんだり、疎外したりするのではなく、障害者に対しても、障害のない人に対するのと同じ態度で接することが重要だということが強調されています。</p>					

40	<b>カルヴィン</b>				
Calvin	文：Leavitt, Martine	カナダ	Groundwood Books	2016	
<p>17歳の少年カルヴィンが、自分の統合失調症が原因で起こったできごとを語ります。幻覚にとりつかれたカルヴィンは、自分と同じ名前のキャラクターが登場する新聞連載漫画の作者にどうしても会わなくてはならないと思いこんでしまいました。カルヴィンの衝動的であぶなっかしい旅に、次第に読者は惹きこまれていくことでしょう。漫画家のもとへ行くため、カルヴィンは冬のさなかに、凍りついた大きな湖を歩いて渡ることになります。語り手がカルヴィン自身であるため、現実と幻覚の境目はうまくぼかされています。カルヴィンは、自分で自分の思考をコントロールできないという事実におびえるいっぽうで、自分の脳が独自の「心」や「意思」を持っているという考えにとらわれてしまいます。氷の上を歩いて渡ろうとするカルヴィンに、友だち思いの友人ができてくれました。その友人のおかげで、カルヴィンはやがて、病気にふりまわされるのではなく、自分が病気をコントロールしなければならないのだと悟ります。この奇妙な旅の終わりは、同時に、もっと現実的な目標を持った新たな旅の始まりでもありました。そして、次の旅のゴールは、心の健康をとりもどし、現実世界にあらためて自分の居場所を見つけることにあります。</p>					

41	<b>レイン 雨を抱きしめて</b>				
Rain Reign	文：Martin, Ann M.	アメリカ合衆国	Feiwei and Friends (Macmillan)	2014	Y8-B15043
<p>ローズは、人の気持ちを〈読みとる〉ことが苦手な11歳のアスペルガー症候群の少女。ローズの人生は楽なものではありませんが、大切な犬のレインを世話したり、毎日をのりきるためのちょっとした決めごとを守ったりしてなんとか過ごしています。ところが、巨大なハリケーンがやってきてレインが行方不明になり、すべてが一変します。レインがいない喪失感や悲しみや心配から、ローズはレインを探しに快適な場所から外へ踏み出さざるをえなくなります。レインの搜索はローズの望んだようにはなりませんでしたが、心に訴えかけてくる結末には未来への希望が見えます。ローズがかたくなに規則を守ろうとすることと、洞察力ともいえる、人とは違ったものの見方は「対」になっています。それは、アスペルガー症候群の特徴だというだけでなく、世の中を渡っていく手段でもあるのです。そして、そのことが、周りの人びとや読者にローズを大切に思わせ、高く評価させるのです。2016年アメリカ合衆国ドリー・グレイ児童文学賞（チャプターブック部門）、2015年アメリカ合衆国シュナイダー・ファミリー文学賞ミドルスクール（11～13歳向け）部門受賞。 ●邦訳『レイン 雨を抱きしめて』（アン・M・マーティン 著、西本かおる 訳、小峰書店）</p>					

<b>42 再教育クラス</b>					
Klass Korrekcii	文：Murashova, Ekaterina	ロシア	Samokat	2014	
<p>現代ロシアの学校を舞台にしたこの小説で、作者は、心身に障害のある子どもたちが周りから拒絶され、置き去りにされるという難しい問題に取り組んでいます。7-Eクラスの生徒たちは、それぞれなんらかの身体的、情緒的、精神的な問題を抱えていることを理由に、教師や家族から見放された子どもたちです。ほとんどの子どもは正規教育の最終学年ですが、将来に光は見えません。しかし、このクラスに車いすの少年ユーラが編入してきたことで、周りから取り残されたようなこの小さなコミュニティに、はじめて希望が生まれます。新入りのユーラには、ほかのクラスメートにはない強みがあるあり、人生を楽観視していました。ユーラとともに過ごすうちに、クラスの子どもたちも、人生から与えられるものをなんでも黙って受け入れる必要はない、自分たちには人生を変える力があり、小さくとも重要な変化を起こすことができるのだということに気づきます。ロシア社会の片隅を描いた、現実的で前向きなこの物語には、公正さ、思いやり、協力といったテーマが織りこまれています。</p>					

<b>43 ウマ、ウマ、トラ、トラ</b>					
Hest, hest, tiger, tiger	文：Neerlin, Mette Eike	デンマーク	Høst & Søn, Rosinante & Co,	2015	Y8-B16592
<p>ホーネイの毎日は、抑圧され、みじめなものでした。父親は必要ときだけ金をせびりに来るならず者で、母親は生計を支えるため仕事に追われています。姉は、生まれたときに負った脳の損傷により、自分のことで精一杯。ホーネイ自身も口蓋裂のハンディを負っていますが、逆境にくじけず、家族の力になれるように、困難な状況に挑み続けます。そんな中、ホーネイがつけた何気ないウソが偶然の出会いをもたらし、新たな可能性の扉を開きます。末期症状の病気を患い、ホスピスで暮らすマーシャルという男性と知り合ったのです。八方ふさがりの状況で、マーシャルはホーネイに、人生を正面から受け止められるような励ましと勇気を与えてくれました。この本のタイトルは、「必ずしもよいこととはいえないが、もっと悪いことも起こりえた」という意味の中国のことわざです。</p>					

<b>44 木が教えてくれたこと</b>					
La lezione degli alberi	文：Parmeggiani, Roberto 絵：Palumbo, Attilio	イタリア	Massimiliano Piretti Editore	2016	Y17-B20088
<p>エンリーコのクラスに目立つ女の子がいます。パオラという名前のその女の子は、絶対にしゃべらないのです。そのことでパオラをいじめる子もいますが、エンリーコはパオラのことを好きでした。エンリーコが、色とりどりのチョウの絵を描いてパオラにプレゼントすると、パオラは黙って受け取りましたが、エンリーコがいろいろと聞いても、何も答えてくれません。エンリーコはとまどい、パオラは自分と同じなのか違うのかと先生にたずねます。先生は、この絵本を読む幼い読者にもわかるように、イメージを使って答えます。子どもは木みたいなもの——ほかの木とはちがう木もあるけれど、どの木も生きていて、どの木もみんなたいせつなのだと。自分と違うものを受け入れ、理解することをテーマにした優しい物語に、木をイメージした茶色と緑を基調にした絵が添えられています。</p>					

<b>45 ぼくは座って考える</b>					
Pensée assise	文：Robin, Mathieu	フランス	Actes Sud junior	2015	
<p>やっかいな問題を抱えた思春期のラブストーリーです。主人公の少年テオは、自動車事故で両脚の自由を失いました。でも、立ち上がって好きな女の子にキスをしたくてたまりません。五体満足な人間にとっては簡単なことなのに、下半身の自由を失ったテオにとってはとうてい無理に思えます。脚本家である著者は、テンポのよい映画を観ているかのような、読みやすく魅力的な物語を作りあげました。テオの一人称で語られているので、気持ちがゆれ動く場面などは特に感情移入してしまいます。ブラックユーモアのセンスがあるテオに親近感をおぼえるティーンエイジャーは多いでしょう。性的欲求や、ふつうの人間として受け入れてほしいという願望をあっけらかんと語るテオに、きっと共感するはずです。</p>					

<b>46 わたしたちがつくる、わたしたちの物語</b>					
Kossas minna wa 3anna	文：Step Together Association 文字起し：Sharafeddine, Fatima/Barraj, Samar Mahfouz 絵：Step Together Association/Yakzan, Mona	レバノン	Step Together Association	2015	
<p>この本は、ある女性教育者が組織したレバノンでの共同プロジェクトから生まれました。彼女は、学習障害のある子どもたちが、自分の知識や経験、将来の目標などをみんなと共有することを目的とした、特別教育の仕事をしています。2015年、3日間にわたる創造的な表現のワークショップが行われました。12歳から16歳までの12人の子どもたちが、作家や画家といっしょに、それぞれひとつずつ物語を作りました。ストーリーは子どもたちが考案し、それを作家が書き起こしました。イラストレーションは、画家の指導のもとに子どもたちが制作したアート作品です。光沢をおさえたオフホワイトの紙や読みやすい書体を選ぶことで、この作品集は、ディスレクシアの読者や、読書するのが困難な人にも手に取りやすいように仕上がっています。どの物語も、心をこめて作られた、個性的で、世にふたつとない作品です。</p>					

47	あんちゃん				
	作：高部晴市	日本	童心社	2013	Y17-N13-L273
<p>小学生なのに体が大きくて力持ちな「あんちゃん」にあこがれる弟は、こう言います。あんちゃんはごはんを何杯も食べるし、腕ずもうも強い。プロレスごっこでも、みんなを負かしてしまう。町のソフトボールチームでは4番バッターだ。けれど、弟はあんちゃんのことを、だんだん心配になってきます。ソフトボールをしているときに、あんちゃんがボールを見うしなったり、ベースがよく見えないといったりしているのに気づいたからです。ある日、その理由がわかります。あんちゃんは、網膜色素変性症という目の病気でした。あんちゃんの見えなくなると、しまいに見えなくなってしまうのです。実話にもとづいたこの絵本は、文字が少なめなので、ひとり読みができるようになったばかりの子どもにちょうどよいでしょう。弟の視点から語られることで、なにかを失ってもまだ希望はある、大きな変化の中でも変わらないものもある、ということがよく伝わってきます。障害を抱えることになっても、弟にとってあんちゃんは自慢の兄であり、大好きな兄であることに変わりはないのです。</p>					

48	エマニュエルの夢：エマニュエル・オフォス・イエボアのほんとうの物語				
	Emmanuel's Dream: The True Story of Emmanuel Ofose Yeboah	文：Thompson, Laurie Ann 絵：Qualls, Sean	アメリカ合衆国	Schwartz & Wade (Penguin)	2015 Y1-B502
<p>生まれつき脚が不自由なガーナ出身の少年エマニュエルが、すばらしい成長をとげる実話に基づいた絵本です。乾燥した大地を思わせるような下地の上に、混合技法で描かれたイラストレーションは、まさにエマニュエルが育った熱帯の西アフリカそのものです。エマニュエルは偏見に負けず、周りの人たちが両足で簡単にできることを片足でやり遂げようと努力します。「あなたは何も持っていないかもしれないけど、自分でやり遂げる力があると思うわ」といつてくれた母親に勇気づけられて、毎日学校へ片足でとびはねながら通い、サッカーをして、ついには自転車にも乗れるようになりました。大人になってからは、自転車でガーナを横断しようと決意しました。それは、400マイルの距離をたった10日で踏破するというものでした。エマニュエルは、障害がある人だって「できない」ことはない、世の中に知らしめたのです。巻末には、現在エマニュエルが行っている障害のある人のための取り組みについて書かれています。</p>					

49	リバウンド				
	Rebound	文：Walters, Eric	カナダ	Fitzhenry & Whiteside	2014 Y8-B16529
<p>前の年度に問題を起こし、今学期は一からやりなおす約束をしていたショーンは、車いすで生活をする転校生のデーヴィッドが学校になじむまで手助けをするようにいわれます。ところが、ふたりは初対面で派手なけんかをしてしまいます。最初の出会いは最悪でしたが、だんだんと打ち解け、大好きなバスケットボールを通じて絆を深めていきました。相手のことがわかってくると、ショーンは、デーヴィッドのいろいろな側面に気づくようになります。デーヴィッドは、障害を理由に人から親切にしてもらったり、優先的にあつかわれたりするのをなんとも思いませんが、いっぽうでは、同情されたり、やたらと世話を焼かれたりすることを嫌うのです。デーヴィッドは、まっすぐでさっぱりした気性の少年で、彼の感じる苦々しさやいらだちに、同じ境遇にある読者は、心から共感するでしょう。デーヴィッドは、自分が経験している世界を体験させようと、ショーンを一日車いすで過ごさせます。デーヴィッドの言葉に、読者はなるほどと思い、先を読まずにいらなくなるでしょう。この物語は、作者が実際に取材、体験したことをもとにしています。</p> <p>●邦訳『リバウンド』（エリック・ウォルターズ 作、小梨直 訳、福音館書店）</p>					

50	だめ！				
	Nej!	文・絵：Wirsén, Stina	スウェーデン	Bonnier Carlsen	2015 Y17-B19416
<p>ふたつの言葉、「だめ (No)」と「やったね (Yes)」。人の心を傷つける可能性のある「だめ！」という一言から、達成感に満ちた「やったね！」への飛躍、これが、このシンプルなお話の核心です。幼児向けのボードブックで、車いすに乗った元気いっぱいの女の子が登場します。女の子の名前はルチア。スウェーデンの伝統行事「ルチア」にちなんで、キャンドルの冠をかぶっています。あるとき、ルチアは友だちの女の子と、おもちゃをめぐってけんかをはじめました。けれど、危険な場所にいるもうひとりの友だちを助けるために、ふたりはけんかをやめて協力します。そして、ルチアの車いすの活躍で、友だちを助けることができました。白い背景に、ゆるやかな線とやわらかな色使いで描かれた画面や、「だめ！」と「やったね！」というときに見えるルチアたちの表情の面白さは、きっと子どもたちを夢中にさせることでしょう。幼児向けの絵本に車いすに乗ったキャラクターが描かれることは珍しく、子どもにも大人にも、新たな視点を与えてくれる作品です。</p>					

### 参考出品 布の絵本

- 1) 『もこもこすごろく』
- 2) 『おおきなかぶ』
- 3) 『おおかみと7ひきのこやぎ』
- 4) 『baby books じどうしゃ』
- 5) 『ばくばく』